IV. 参考文献・付録

参考文献

1. 全体

(公財)日本障がい者スポーツ協会(2017).http://www.jsad.or.jp/training/pdf/trainer-registrant_170228.pdf

笹川スポーツ財団(2013).平成24年度 文部科学省『健全者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動連携推進事業(地域における障害者のスポーツ・レクリエーション活動に関する調査研究)』報告書.

笹川スポーツ財団(2014).平成25年度 文部科学省『健全者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動連携推進事業(地域における障害者のスポーツ・レクリエーション活動に関する調査研究)』報告書.

笹川スポーツ財団(2015).平成26年度 文部科学省『健全者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動連携推進事業(地域における障害者のスポーツ・レクリエーション活動に関する調査研究)』報告書.

笹川スポーツ財団(2017).政策提言2017.

スポーツ庁(2017).第2期スポーツ基本計画.

(独)国立特別支援教育総合研究所(2016).インクルーシブ教育システム構築支援データベース.

内閣府(2016).障害を理由とする差別の解消の推進.

藤田紀昭(2013).障害者スポーツの環境と可能性.

2. 地方自治体の障害者スポーツ振興に関する調査

魚津市ホームページ <http://www.city.uozu.toyama.jp/>

障がい者スポーツ振興懇話会「障がい者とスポーツ」第54号、第55号、第56号.

高槻市ホームページ <http://www.city.takatsuki.osaka.jp/>

第37回魚津しんきろうマラソンホームページ <http://www.uozu-shinkirou-marathon.jp/>

第25回東日本車椅子バスケットボール選手権大会 大会プログラム.

長岡市ウェブサイト <http://www.city.nagaoka.niigata.jp/>

長岡市スポーツ推進計画(案) 平成29年.

日本障がい者スポーツ協会 平成27年度初級障がい者スポーツ指導員養成講習会一覧(地域主催).

福岡市スポーツ協会ホームページ <http://www.sports-fukuokacity.or.jp/index.html>

福岡市スポーツ振興計画～スポーツでこころとからだの健康づくり～平成22年.

福岡市ホームページ <http://www.city.fukuoka.lg.jp/index.html>

福岡市立障がい者スポーツセンターさん・さんプラザホームページ.

<http://www.fc-jigyoudan.org/sunsun/s-a-1.html>

福岡市立障がい者スポーツセンター「平成27年度版さん・さんプラザ年報」.

福岡都市圏ホームページ <http://www.fukuoka-tosiken.jp/>

福島県ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/>

3. 特別支援学校のスポーツ環境に関する調査

玉村公二彦, 清水貞夫, 黒田学&向井啓二(2015).キーワードブック特別支援教育.

平成27年度全国体力・運動能力, 運動習慣等調査鹿児島県結果分析(概要版),

https://www.pref.kagoshima.jp/ba06/kyoiku-bunka/sports/school/documents/51140_20160330122857-1.pdf

4. 特別支援学級のスポーツ環境に関する調査

さいたま市教育委員会(2016).「平成28年度さいたま市立学校(園)幼児・児童・生徒数集計」

<http://www.city.saitama.jp/003/002/008/index.html>.

齊藤まゆみ, 金山千広&山崎昌廣(2009).小中学校に在籍する障害のある児童生徒の体育の実施状況に関する全国調査.

札幌市教育委員会(2013).第7回「新たな札幌市教育振興基本計画」検討会議 資料3:教育を取り巻く現状と課題, https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/keikaku/new_plan/documents/7shiryo_3.pdf.

札幌市教育委員会(2016).平成28年度札幌市特別支援教育の状況.

三泗教育発表振興会 HP(2016)

<http://gakkoukyouiku.saitama-city.ed.jp/sosiki/sidou2/tokubetunew2009/suisinkeikaku2.pdf>.

http://www.city.saitama.jp/006/007/011/001/009/p022815_d/fil/25h26kyoiku.pdf

第2次さいたま市 特別支援教育推進計画(2014). <http://gakkoukyouiku.saitama-city.ed.jp/sosiki/sidou2/tokubetunew2009/suisinkeikaku2.pdf>.

平成27年度第2回さいたま市総合教育会議(2015).「さいたま市における特別支援学級の状況」

http://www.city.saitama.jp/006/007/002/021/p036929_d/fil/nikai-shiryo.pdf

四日市市教育委員会(2016).特別支援教育・相談. <http://www5.city.yokkaichi.mie.jp/secure/63808/3-05.pdf>.

地方自治体の障害者スポーツ振興に関する調査

地方自治体の障害者スポーツ振興に関する調査

本調査は、平成28年度スポーツ庁「地域における障害者スポーツ普及促進事業（障害者のスポーツ参加における障壁等の調査分析）」にかかる調査の一部であり、地方自治体の障害者スポーツ振興の状況をおうかがいするものです。アンケート結果は、スポーツ庁のホームページ等を通じて公開されるとともに、スポーツ庁による障害者スポーツ振興のための施策の充実のための基礎資料として活用されます。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、アンケートの趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

公益財団法人 笹川スポーツ財団

【回答方法】 電子メール、または郵送のいずれかでご回答ください。

- ① 電子メールによるご回答
 (送付先メールアドレス) sports2016@nrc.co.jp
 ② 郵送によるご回答
 同封の返信用封筒(受取人払い)にてお送りください。

調査票の発送・回収・データ入力については、(公助)笹川スポーツ財団の委託先である株式会社日本リサーチセンターが担当しております。調査について不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

株式会社日本リサーチセンター 調査部 担当：藤田・鈴木

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-7-1

TEL：0120-994-768 (平日 10:00～17:00)

ご回答期限：2016年9月15日(木)

問1 プロフィール

エクセル調査票番号(エクセルファイルでご回答の方は、お送りした調査票の右上の4桁の数字をご記入ください)		
自治体名	<都道府県>	<市区町村>
所属	※部局から、課・係・室・班などまで、できるかぎり詳しく正確にご記入ください。	
記入者氏名		
電話番号		
E-mail		

【障害者スポーツ担当部署と実施事業について】

問2 貴自治体において、

- (1) 障害者スポーツの主たる担当部署をひとつだけお選びください。
 (2) 障害者の生涯スポーツ(地域における障害者のスポーツ参加促進)に関連する事業を所管している部署をすべてお選びください。
 (3) 障害者の競技スポーツ(トップ選手の発掘・育成など)に関連する事業を所管している部署をすべてお選びください。

※ 国体・全国障害者スポーツ大会の開催準備のために、時限的に設置されている部署は除きます。

部署名	(1) 主たる担当部署 (◎はひとつ)	(2) 障害者の生涯スポーツに関連する事業 (☐はいくつでも)	(3) 障害者の競技スポーツに関連する事業 (☐はいくつでも)
1 障害福祉・社会福祉関連部署	○	☐	☐
2 教育委員会等のスポーツ担当部署	○	☐	☐
3 首長部局のスポーツ担当部署	○	☐	☐
4 1～3以外のオリンピック・パラリンピック関連部署	○	☐	☐
5 その他 ()	○	☐	☐

問3 障害者のスポーツ振興に関する事業についておうかがいします。

- (1) 貴自治体が平成27(2015)年度に主催した事業について、あてはまるものをお選びください。
 ※(1)でチェックした項目については、(2)～(4)にもお答えください。
- (2) 参加者の障害種別すべてをお選びください。
- (3) 事業実施の主な協力団体や委託先をお選びください。
- (4) 事業の実施にあたり、障害者自立支援法の地域生活支援事業「スポーツ・レクリエーション教室
 開催等事業」を利用しましたか。

	(1)実施した事業(はいくつでも)	(2)参加した障害種別(P3の【障害種別一覧】より選んで、番号を記入してください。)	(3)協力団体・委託先(P3の【協力団体・委託先一覧】より選んで、番号を記入してください。)	(4)地域生活支援事業「スポーツ・レクリエーション教室開催等事業」の利用(●はひとつ)
(記入例)	☒	1、2、3、4、5、6、7	2、4、7、9	● 1.利用した ○ 2.利用しなかった
1. 障害者スポーツの競技大会(全国障害者スポーツ大会予選会など)	☐			○ 1.利用した ○ 2.利用しなかった
2. 障害者スポーツ・レクリエーションの運動会(市民大会など)	☐			○ 1.利用した ○ 2.利用しなかった
3. 障害者スポーツ・レクリエーションの教室(単発事業)	☐			○ 1.利用した ○ 2.利用しなかった
4. 障害者スポーツ・レクリエーションの教室(一定期間内の継続事業)	☐			○ 1.利用した ○ 2.利用しなかった
5. 障害者スポーツ指導者養成講習会	☐			○ 1.利用した ○ 2.利用しなかった
6. 障害者と健常者の交流を目的としたスポーツ大会(主な種目：)	☐			○ 1.利用した ○ 2.利用しなかった
7. 一般の市民運動会等における障害者スポーツ体験・紹介ブースの設置	☐			○ 1.利用した ○ 2.利用しなかった
8. 一般のマラソン大会等における障害者部門(視覚障害の部、車いすの部など)の設置	☐			○ 1.利用した ○ 2.利用しなかった
9. 障害者スポーツ選手の講演会や実技披露等(体験会などを含む)	☐			○ 1.利用した ○ 2.利用しなかった
10. その他()	☐			○ 1.利用した ○ 2.利用しなかった
11. 主催したものはない	☐			

◆回答選択肢◆（2ページの問3（2）の回答選択肢としてお使いください）

【障害種別一覧】

1 視覚障害	6 知的障害
2 聴覚障害	7 精神障害
3 音声言語またはそしゃく機能障害	8 発達障害
4 肢体不自由	9 重複障害（身体障害の重複）
5 内部障害	10 重複障害（身体障害と知的障害の重複）
	11 その他の重複障害

◆回答選択肢◆（2ページの問3（3）の回答選択肢としてお使いください）

【協力団体・委託先一覧】

1 都道府県社会福祉協議会	9 一般のレクリエーション団体（レク協会等）
2 市区町村社会福祉協議会	10 スポーツ推進委員協議会
3 特別支援学校	11 総合型地域スポーツクラブ
4 障害者スポーツ協会	12 障害者の当事者団体、家族会等
5 障害者スポーツセンター	13 その他の福祉団体
6 障害者スポーツ種目団体・クラブ・サークル	14 大学・専門学校
7 障害者スポーツ指導者組織	15 企業
8 一般のスポーツ団体（体育協会・競技団体等）	16 その他（ ）
	17 協力団体・委託先はない

【スポーツの推進に関する審議会について】

問4 貴自治体には、現在、スポーツの推進に関する審議会がありますか。また、審議会の委員に障害者関係者は就任していますか。（◎はひとつ）

- 1 審議会があり、障害者関係者が委員に就任している
- 2 審議会はあるが、障害者関係者は委員に就任していない
- 3 その他（ ）

【障害者差別解消法施行後の事例について】

問5 平成28年4月から、「障害を理由とする差別的解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が施行されました。この法律では、「不当な差別的取扱い」を禁止し、「合理的配慮の提供」を求めています。

貴自治体が主催するスポーツ関連事業や公共スポーツ施設において、障害者差別解消法の施行以降、次のような事例を把握していますか。（1）（2）それぞれについてあてはまるもの1つに◎）

	1. 事例を把握していない	2. 事例を把握している
(1) 障害者に対して法律に基づいた合理的な配慮をした事例	☐	☐ (具体的に：)
(2) 障害者から差別に関する申し立てを受けた事例	☐	☐ (具体的に：)

【公共スポーツ施設と障害者について】

問6 貴自治体では、公共スポーツ施設（障害者の専用・優先施設がある場合はこれを除く）において、障害者の利用に対して具体的な配慮をしていますか。 (あてはまるものすべてに☑)

☐ 1	施設利用料の減免	
☐ 2	障害者用の駐車場の設置	
☐ 3	男女兼用の障害者用のトイレの設置（オストメイト対応、誰でもトイレなど）	
☐ 4	男女別の障害者用のトイレの設置	
☐ 5	障害者用の更衣室の設置（異性介助更衣室、家族更衣室、ケアルームなど）	
☐ 6	車いす専用ボタンのついたエレベーターの設置	
☐ 7	スロープ・手すり等の設置	
☐ 8	点字案内や点字ブロックの設置	
☐ 9	障害者について専門知識があるスタッフの配置	
☐ 10	障害者の優先利用時間帯等（プールの優先レーンなど）の設置	
☐ 11	体育館での競技用車いす（車椅子バスケットボール、ウィルチェアラグビーなど）の利用	
☐ 12	障害者のためのスポーツ用具の配備	
☐ 13	盲導犬の預かり対応	
☐ 14	筆談用具の設置	
☐ 15	プール用（入水用）車いすの配備	
☐ 16	その他（	）
☐ 17	あてはまるものはない	

*サウンドテーブルテニスの台・ボール・ラケットやポッチャの用具等

問7 貴自治体は公共スポーツ施設（障害者の専用・優先施設がある場合はこれを除く）の管理運営を指定管理者に委託する際、仕様や要求水準の中で、以下のような障害者への対応を求めていますか。 (あてはまるものすべてに☑)

☐ 1	一般向けの教室に障害者が参加するための配慮	
☐ 2	障害者を対象とした教室等の開催	
☐ 3	スタッフを対象とした障害者対応の研修等の実施	
☐ 4	障害者について専門知識があるスタッフの配置	
☐ 5	障害者の優先利用時間帯等（プールの優先レーンなど）の設置	
☐ 6	その他（	）
☐ 7	仕様や要求水準の中では、障害者への対応は求めている	
☐ 8	施設の管理運営を指定管理者に委託していない	

問8 貴自治体では、地域における障害者のスポーツ参加促進のために、以下の取り組みをしていますか。 (1)～(3)それぞれについてあてはまるもの1つに●)

	1. している	2. していない
(1) 施設のバリアフリーに関する情報をウェブサイトやパンフレット等で提供している	○	○
(2) 障害者のスポーツ教室やサークルなどの情報をウェブサイトやパンフレット等で提供している	○	○
(3) 施設の管理者向けに障害者対応のマニュアル・ガイドブックを作成している	○	○

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

特別支援学校のスポーツ環境に関する調査(A票)

特別支援学校のスポーツ環境に関する調査(A票)

本調査は、障害のある幼児児童生徒のスポーツの場としての特別支援学校の実態把握を目的として、全国特別支援学校長会の「みんなdeスポーツ推進委員会」が実施する自主的な調査となりますが、今回は、スポーツ庁の「障害者スポーツ普及促進事業」に係る調査も兼ねて実施します。調査実施は、日本体育大学 生涯スポーツ学研究室と笹川スポーツ財団（スポーツ庁受託機関）が行います。回答は統計的に処理され、回答者や施設名が公表されることはありません。調査結果は全国の特別支援学校における体育、運動・スポーツ活動の充実、およびわが国の障害者のスポーツ施策の充実のための基礎資料として活用されます。調査の性質上、学校の教育活動外の状況もお伺いしますので、把握している範囲でご回答いただければと存じます。お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

2016年8月

【調査主体】全国特別支援学校長会「みんなdeスポーツ推進委員会」

【調査協力】日本体育大学生涯スポーツ学研究室／笹川スポーツ財団

【回答方法】郵送、電子メール、またはFAXのいずれかでご回答ください。

- ① 郵送によるご回答（住所）〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-7-1
- ② 電子メールによるご回答（メールアドレス）sports@nrc.co.jp
- ③ FAXによるご回答（FAX）03-6667-3475

調査票の発送・回答・データ入力については、笹川スポーツ財団の委託先である株式会社日本リサーチセンターが担当しております。調査について不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

株式会社日本リサーチセンター 調査部 蔵田・鈴木
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-7-1
TEL：0120-504-570（平日 10:00～17:00）

ご回答期限：2016年8月31日(水)

問1 貴校とご回答者についてお書きください。

学校名			
回答者名		職名	
電話番号		E-Mail	

問2 貴校の幼児児童生徒数についてお答えください。（2016年8月1日現在）

幼児児童生徒総数： 人 （注）本校は分校・分教室を含めずにお答えください。

重度・重複障害者の在籍（●は一つ）

1 あり 2 なし

学校種区分別・部別内訳

	視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱
幼稚部	人	人	人	人	人
小学部	人	人	人	人	人
中学部	人	人	人	人	人
高等部普通科	人	人	人	人	人
高等部職業学科	人	人	人	人	人
専攻科	人	人	人	人	人

問3 貴校の教員の総数と、保健体育免許を保有している教員の数をお答えください。

(2016年8月1日現在)

教員総数： []人 注)本校は分校・分教室を含めずにお答えください。

保健体育免許保有教員数： []人

うち、特別支援学校教諭免許状保有教員数： []人

学校種区別・部別 保健体育免許保有者内訳

	視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱
幼稚部	人	人	人	人	人
小学部	人	人	人	人	人
中学部	人	人	人	人	人
高等部普通科	人	人	人	人	人
高等部職業学科	人	人	人	人	人
専攻科	人	人	人	人	人

問4 貴校の学校教員に、日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ指導員資格保持者はいますか。(●は一つ)

- 1 いる ()人 うち、保健体育免許保持者 ()人
2 いない
3 把握していない } ⇒問6へ

問5 問4で「いる」と回答した方におたずねします。

資格保持者は、現在、幼児児童生徒に対して運動・スポーツを指導していますか。

(●は一つ)

- 1 すべての人が指導している
2 指導している人としていない人がいる
3 指導していない

問6 貴校の各学部の保健体育及び体育的授業時数（年間）と主な実施種目をお答えください。

1 ☐ 視覚障害 2 ☐ 聴覚障害 3 ☐ 知的障害 4 ☐ 肢体不自由 5 ☐ 病弱				
※複数の障害種別が合同で活動している授業がある場合は1枚にまとめて、すべて別々の活動の場合は障害別に1枚ずつ記入してください。				
	保健体育		体育的授業 (自立活動、生活単元学習含む)	
	時数 (年間)	主な実施種目 (下記「種目一覧」を参考に、あてはまる番号を全て記入ください)	時数 (年間)	主な実施種目 (下記「種目一覧」を参考に、あてはまる番号を全て記入ください)
幼稚部	時間		時間	
小学部	低学年	時間	時間	
	中学年	時間	時間	
	高学年	時間	時間	
中学部	時間		時間	
高等部普通科	時間		時間	
高等部職業学科	時間		時間	
専攻科	時間		時間	

【種目一覧】

<運動遊び>					
1	多様な動きをつくる運動遊び	4	跳運動遊び	7	浮く・泳ぐ運動
2	器械・器具を使った運動遊び	5	力試し運動遊び	8	表現リズム遊び
3	走運動遊び	6	水遊び	9	仲間との競争的遊び活動
<ゲーム・ボール運動>					
10	ボール投げゲーム	12	鬼遊び	14	ネット型ゲーム
11	ボールけりゲーム	13	ゴール型ゲーム	15	ベースボール型ゲーム
<体づくり運動>					
<u>体ほぐしの運動:</u>					
16	ラジオ体操	18	ストレッチ	20	いろいろな条件で歩いたり走ったり飛び跳ねたりする
17	リズムに乗った体操	19	仲間とあわせて行う運動		
<u>体力を高める運動:</u>					
21	柔軟性を高める運動				
<u>巧みな動きを高めるための運動:</u>					
22	バランス	23	用具を投げたり受けたりする	24	様々な空間移動
<u>力強い動きを高めるための運動:</u>					
25	体重負荷を使った運動	26	用具を使う運動		
<u>動きを持続する能力を高めるための運動:</u>					
27	ウォーキング	29	縄跳び	31	ボール・輪・棒を使った体操
28	ジョギング	30	サーキット運動		
<器械運動>					
32	マット運動	33	鉄棒運動	34	平均台運動
				35	跳び箱運動
<陸上競技>					
36	短距離走	38	長距離走	40	走り幅跳び
37	リレー	39	ハードル	41	走り高跳び
42	投てき				
<水泳>					
43	クロール	45	背泳ぎ	47	複数の泳法で泳ぐ
44	平泳ぎ	46	バタフライ	48	リレー
<球技>					
<u>ゴール型:</u>		49	バスケット	50	ハンドボール
<u>ネット型:</u>		52	バレーボール	53	卓球
<u>ベースボール型:</u>		56	ソフトボール	54	テニス
				55	サッカー
					バドミントン
<武道>					
57	柔道	58	剣道	59	相撲
<ダンス>					
60	創作的ダンス	61	フォークダンス	62	現代的なリズムのダンス
<その他>					
63	その他 ()				

問7 貴校では、通常の体育の授業以外の活動（教育課程外を含む）において、幼児児童生徒がスポーツをする機会としてどのようなものがありますか。昨年度と今年度の実績・予定から、あてはまるものをお選びください。（あてはまるものすべてに☑）

【校内での活動】

- 1 学校の運動会・体育祭
- 2 学校のマラソン大会・駅伝大会
- 3 運動部活動やクラブ活動（通年の活動。下の選択肢4を除く）
- 4 同じ敷地内の障害のない中高生の運動部活動への参加（通年参加。不定期の活動は除く）
- 5 都道府県障害者スポーツ大会などのスポーツの大会に向けた期間限定の練習会（部活動は除く）
- 6 夏休み等のプール指導（学校またはPTA等の主催）

【校外での活動（学校が関わる活動。個人の自主的参加は除く）】

- 7 都道府県障害者スポーツ大会などのスポーツの大会への参加（部活動は除く）
- 8 特別支援学校体育連盟主催のスポーツ大会・体育大会への参加
- 9 移動教室や遠足、修学旅行等でのスポーツ
- 10 公共のプールや障害者スポーツセンターなど、施設に出かけて行うスポーツ（部活動は除く）
- 11 障害者スポーツ協会や自治体主催するパラリンピック発掘事業への参加

【地域での活動等】

- 12 他の特別支援学校・学級とのスポーツを通じた交流（部活動は除く）
- 13 近隣や同じ敷地内の障害のない幼小中高生とのスポーツを通じた交流
- 14 近隣住民とのスポーツを通じた交流
- 15 その他（具体的に _____ ）

<問7で「3. 運動部活動やクラブ活動」と回答した学校におたずねします。

運動部・クラブがない場合は問10にお進みください。>

問8 部活動やクラブ活動のスポーツの内容について、以下の質問にお答えください。

障害種別	1 ☐ 視覚障害 2 ☐ 聴覚障害 3 ☐ 知的障害 4 ☐ 肢体不自由 5 ☐ 病弱	
	※複数の障害種別が合同で活動している部がある場合は1枚にまとめて、すべて別々の活動の場合は障害別に1枚ずつ記入してください。	
運動部・クラブへの参加 (あてはまるものすべてに☑)	1 ☐ 幼稚園部 2 ☐ 小学部 3 ☐ 中学部 4 ☐ 高等部普通科 5 ☐ 高等部職業学科 6 ☐ 専攻科	
参加人数	() 人	
実施種目および平均実施回数(月)	1 ☐ アーチェリー → () 回/月	
	2 ☐ グラウンド・ゴルフ → () 回/月	
あてはまる種目をすべて選んで右の番号に☑	3 ☐ グランドソフトボール → () 回/月	
	4 ☐ 車いすテニス → () 回/月	
	5 ☐ 車椅子バスケットボール → () 回/月	
	6 ☐ 剣道 → () 回/月	
※実施回数については、夏休み等の長期休暇中の活動を除いて回答ください	7 ☐ ゴールボール → () 回/月	
	8 ☐ サウンドテーブルテニス → () 回/月	
	9 ☐ サッカー (ブラインドサッカー含む) → () 回/月	
	10 ☐ シットティングバレーボール → () 回/月	
	11 ☐ 柔道 → () 回/月	
	12 ☐ 水泳 → () 回/月	
	13 ☐ ソフトボール → () 回/月	
	14 ☐ 卓球 → () 回/月	
	15 ☐ 卓球バレー → () 回/月	
	16 ☐ テニス → () 回/月	
	17 ☐ ドッジボール → () 回/月	
	18 ☐ バスケットボール → () 回/月	
	19 ☐ バドミントン → () 回/月	
	20 ☐ バレーボール (ソフトバレーボール含む) → () 回/月	
	21 ☐ ハンドサッカー → () 回/月	
	22 ☐ ふうせんバレーボール → () 回/月	
	23 ☐ フットベースボール (キックベースボール) → () 回/月	
	24 ☐ フライングディスク → () 回/月	
	25 ☐ フロアバレーボール → () 回/月	
	26 ☐ ボウリング → () 回/月	
	27 ☐ ボッチャ → () 回/月	
	28 ☐ 野球 (ティーボール含む) → () 回/月	
	29 ☐ 陸上競技 → () 回/月	
	30 ☐ ロードレース → () 回/月	
	31 ☐ その他1 () → () 回/月	
	32 ☐ その他2 () → () 回/月	
活動時間 (あてはまるものすべてに☑)	1 ☐ 放課後 (朝始業前含む) 3 ☐ 長期休業期間 (夏休み等)	
	2 ☐ 休日 (土日祝日) 4 ☐ その他 ()	
対外試合への参加	1 ☐ あり 2 ☐ なし	
卒業生の練習参加	1 ☐ あり 2 ☐ なし	
重度・重複障害者の参加	1 ☐ あり 2 ☐ なし	

問9 貴校の部活動やクラブ活動において、外部指導者（教職員以外）を導入していますか。

導入有無（●は一つ）	1 ☐ 導入している	2 ☐ 導入していない ⇒問10へ
外部指導者の経歴について（あてはまるものすべてに☑）	1 ☐ 特別支援学校の元教員（退職者を含む） 2 ☐ 自校以外の特別支援学校の教員 3 ☐ 障害者スポーツ協会または障害者スポーツセンターの職員 4 ☐ 上記1、2、3を除く日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ指導員 5 ☐ 幼児児童生徒・卒業生の保護者 6 ☐ 日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ指導員以外の地域のスポーツ指導者（保護者を除く）	
外部指導者の指導種目について（あてはまるものすべてに☑）	1 ☐ アーチェリー 2 ☐ グラウンド・ゴルフ 3 ☐ グランドソフトボール 4 ☐ 車いすテニス 5 ☐ 車椅子バスケットボール 6 ☐ 剣道 7 ☐ ゴールボール 8 ☐ サウンドテーブルテニス 9 ☐ サッカー（ブラインドサッカー含む） 10 ☐ シットイングバレーボール 11 ☐ 柔道 12 ☐ 水泳 13 ☐ ソフトボール 14 ☐ 卓球 15 ☐ 卓球バレー 16 ☐ テニス 17 ☐ ドッジボール 18 ☐ バスケットボール 19 ☐ バドミントン 20 ☐ バレーボール （ソフトバレーボール含む） 21 ☐ ハンドサッカー 22 ☐ ふうせんバレーボール 23 ☐ フットベースボール （キックベースボール） 24 ☐ フライングディスク 25 ☐ フロアバレーボール 26 ☐ ボウリング 27 ☐ ポッチャ 28 ☐ 野球（ティーボール含む） 29 ☐ 陸上競技 30 ☐ ロードレース 31 ☐ その他（ ） 32 ☐ その他（ ）	

問10 貴校の教職員や幼児児童生徒と障害者スポーツとの関わりについて、わかる範囲でお答えください。（あてはまるものすべてに☑）

1 ☐ 教職員が都道府県の障害者スポーツ大会や種目別のブロック大会・県大会などの運営に関わっている（いた） 2 ☐ 教職員が特別支援学校体育連盟が主催する大会の運営に関わっている（いた） 3 ☐ 教職員が全国障害者スポーツ大会やジャパンパラ大会、種目別全日本選手権などの全国大会の運営に関わっている（いた） 4 ☐ 教職員が障害者スポーツの競技団体の運営に関わっている（いた） 5 ☐ 幼児児童生徒や卒業生がパラリンピック、デフリンピック、種目別世界選手権やアジア大会などの国際大会に出場したことがある 6 ☐ 幼児児童生徒や卒業生がスペシャルオリンピックスの国際大会に出場したことがある 7 ☐ 1～6にあてはまる事例を把握していない

<すべての学校におたずねします>

問14 貴校では、学校として、児童生徒の学外および卒業後の自主的なスポーツ活動の充実に
つながる以下のような配慮をされていますか。 (あてはまるものすべてに☑)

- 1 障害者スポーツセンターに連れて行ったり、情報を提供するなどして、
施設の活用を促している
- 2 児童生徒が参加できるスポーツのイベントやスポーツ教室、
地域スポーツクラブなどの情報を提供している
- 3 福祉サービスを利用した個人的なスポーツ活動（移動支援で公共のプールに行くなど）
を促している
- 4 プロスポーツの試合や障害者アスリートが参加する大会などの情報を提供し、
スポーツの直接観戦やテレビ観戦を促している
- 5 その他 ()
- 6 特にしていない

問15 都道府県・市区町村主催の障害者スポーツ大会等についてお答えください。

問15-1 都道府県主催の障害者スポーツ大会へ、学校として参加していますか (●は一つ)

1 参加している ⇒ 問15-2へ

2 参加していない

↓
貴校の幼児児童生徒の個人参加はありますか? (●は一つ) ⇒回答後は問15-3へ

1 ある

2 ない

3 把握していない

問15-2 「参加している」と回答した方にお尋ねします。

参加している種目についてお答えください。 (あてはまるものすべてに☑)

1 ☐ アーチERY	17 ☐ ドッジボール
2 ☐ グラウンド・ゴルフ	18 ☐ バスケットボール
3 ☐ グランドソフトボール	19 ☐ バドミントン
4 ☐ 車いすテニス	20 ☐ バレーボール (ソフトバレーボール含む)
5 ☐ 車椅子バスケットボール	21 ☐ ハンドサッカー
6 ☐ 剣道	22 ☐ ふうせんバレーボール
7 ☐ ゴールボール	23 ☐ フットベースボール (キックベースボール)
8 ☐ サウンドテーブルテニス	24 ☐ フライングディスク
9 ☐ サッカー (ブラインドサッカー含む)	25 ☐ フロアバレーボール
10 ☐ シットティングバレーボール	26 ☐ ボウリング
11 ☐ 柔道	27 ☐ ボッチャ
12 ☐ 水泳	28 ☐ 野球 (ティーボール含む)
13 ☐ ソフトボール	29 ☐ 陸上競技
14 ☐ 卓球	30 ☐ ロードレース
15 ☐ 卓球バレー	31 ☐ その他1 ()
16 ☐ テニス	32 ☐ その他2 ()

問15-3 市区町村主催の障害者スポーツ大会がありますか。(●は一つ)

1 ある 2 ない ⇒ 問16へ

問15-4 「ある」と回答した方にお尋ねします。

市区町村主催の障害者スポーツ大会へ、学校として参加していますか。(●は一つ)

1 参加している ⇒ 問15-5へ
2 参加していない
 ↓
 貴校の幼児児童生徒の個人参加はありますか？(○は一つ) ⇒ 回答後は問16へ
1 ある 2 ない 3 把握していない

問15-5 「参加している」と回答した方にお尋ねします。

参加している種目についてお答えください。(あてはまるものすべてに☑)

1 ☐ アーチERY	17 ☐ ドッジボール
2 ☐ グラウンド・ゴルフ	18 ☐ バスケットボール
3 ☐ グランドソフトボール	19 ☐ バドミントン
4 ☐ 車いすテニス	20 ☐ バレーボール(ソフトバレーボール含む)
5 ☐ 車椅子バスケットボール	21 ☐ ハンドサッカー
6 ☐ 剣道	22 ☐ ふうせんバレーボール
7 ☐ ゴールボール	23 ☐ フットベースボール(キックベースボール)
8 ☐ サウンドテーブルテニス	24 ☐ フライングディスク
9 ☐ サッカー(ブラインドサッカー含む)	25 ☐ フロアバレーボール
10 ☐ シットイングバレーボール	26 ☐ ボウリング
11 ☐ 柔道	27 ☐ ボッチャ
12 ☐ 水泳	28 ☐ 野球(ティーボール含む)
13 ☐ ソフトボール	29 ☐ 陸上競技
14 ☐ 卓球	30 ☐ ロードレース
15 ☐ 卓球バレー	31 ☐ その他1 ()
16 ☐ テニス	32 ☐ その他2 ()

問16 貴校において、幼児児童生徒のスポーツ活動をより一層充実させるためには、

今後どのような取り組みが重要だと考えますか。(あてはまるものすべてに☑)

1 ☐ 教職員がスポーツを指導できる時間の確保
2 ☐ 教職員の専門知識・ノウハウの習得
3 ☐ 外部人材(ボランティアスタッフを含む。選択肢4を除く)の確保・充実
4 ☐ 幼児児童生徒の体調管理のための医療スタッフ(看護師など)の確保
5 ☐ 校内の施設やスペースの確保・拡充
6 ☐ 用具や器具の確保・充実
7 ☐ 幼児児童生徒がスポーツに取り組む時間を確保するための移手段の充実 (スクールバスの増便など)
8 ☐ その他 ()

問17 都道府県の特別支援学校体育連盟はありますか。(●は一つ)

1 ☐ ある	2 ☐ ない	3 ☐ 把握していない

問18 貴校において、保有・整備しているスポーツ用具についてお答えください。(あてはまるものすべてに☑)

1 ☐ 体づくり運動用具(縄跳び、一輪車など)	13 ☐ バレーボール用具
2 ☐ 器械運動用具(跳び箱、マット、鉄棒など)	14 ☐ 卓球用具
3 ☐ 陸上運動用具(バトン、ハードル、ライン引きなど)	15 ☐ バドミントン用具
4 ☐ プール用水泳用具	16 ☐ テニス用具
5 ☐ ソフトボール用具	17 ☐ グランドソフトボール用具
6 ☐ サッカー用具	18 ☐ サウンドテーブルテニス用具
7 ☐ バスケットボール用具	19 ☐ ゴールボール用具
8 ☐ タグラグビー用具	20 ☐ フロアバレーボール用具
9 ☐ フラッグフットボール用具	21 ☐ 武道用具(柔道着、柔道畳、剣道防具、竹刀など)
10 ☐ ティーボール用具	22 ☐ 表現運動・ダンス用具(太鼓、棒、輪など)
11 ☐ ソフトバレーボール用具	23 ☐ その他)
12 ☐ ハンドボール用具	

問19 今後、具体的に必要としているスポーツ用具がある場合は、当該用具をお答えください。

(あてはまるものすべてに☑)

1 ☐ 体づくり運動用具(縄跳び、一輪車など)	13 ☐ バレーボール用具
2 ☐ 器械運動用具(跳び箱、マット、鉄棒など)	14 ☐ 卓球用具
3 ☐ 陸上運動用具(バトン、ハードル、ライン引きなど)	15 ☐ バドミントン用具
4 ☐ プール用水泳用具	16 ☐ テニス用具
5 ☐ ソフトボール用具	17 ☐ グランドソフトボール用具
6 ☐ サッカー用具	18 ☐ サウンドテーブルテニス用具
7 ☐ バスケットボール用具	19 ☐ ゴールボール用具
8 ☐ タグラグビー用具	20 ☐ フロアバレーボール用具
9 ☐ フラッグフットボール用具	21 ☐ 武道用具(柔道着、柔道畳、剣道防具、竹刀など)
10 ☐ ティーボール用具	22 ☐ 表現運動・ダンス用具(太鼓、棒、輪など)
11 ☐ ソフトバレーボール用具	23 ☐ その他)
12 ☐ ハンドボール用具	

問20 幼児・児童・生徒の運動やスポーツでお困りのこと等ございましたらご記入ください。

例) 気軽に運動できる施設が無い。特別支援学校の教員以外の者がいない。

～以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。～

○著作権者 スポーツ庁 健康スポーツ課 障害者スポーツ振興室

(問合せ先) 〒100-8959 東京都千代田区霞ヶ関 3-2-2

TEL 03-5253-4111 (代表)

○発行元 公益財団法人 笹川スポーツ財団

〒107-6011 東京都港区赤坂 1-12-32

TEL 03-5545-3301